

Point

「お部屋の健康診断」では、室内に存在するアレルギーを引き起こす物質(アレルゲン)となる生物のDNA量を測定しています。検査項目の一つである「花粉」は、多くの方が悩まれているスギ・ヒノキを対象にしていたましたが、より広くお客様のニーズにお応えするために、花粉の検査項目を拡充しました。

リリースしました! ご当地版「お部屋の健康診断®」

ライフケア事業部 お部屋の健康診断室 松葉 悠、角井 良太、知念 恵理奈、大房 健

新メニュー:ご当地版「お部屋の健康診断®」

「お部屋の健康診断」は、①バクテリア、②カビ、③花粉、④ダニ、そして健康被害を及ぼす可能性のある⑤ヒゼンダニ、⑥トコジラミの6項目を検査する商標登録済みのサービスです。花粉項目の基本設定は、花粉症患者数の多いスギ・ヒノキを検査対象にしています。

とはいえ花粉は、地域や時期により飛散状況が大きく異なります。たとえば北海道では、森林面積に対するスギ・ヒノキ林の割合は、1%ほどしかありません。当然、スギ花粉症の患者数は少ないのですが、一方でシラカバ花粉症の急増が報告されています。そこで、お部屋の健康診断室では、北海道にお住まいの方々に向けて、シラカバを含む「カバノキ亜科」の検査サービスを立ち上げました。

同時に、地域に限らずより多くの方々に「お部屋の健康診断」をご利用していただき、お客様のニーズにより広く応えられるよう、花粉症患者数が多い「イネ科」と「ブタクサ」を新たに加え、花粉項目をさらに拡充しました。

リニューアルした「お部屋の健康診断」では、お申込みの際に、追加料金なしで花粉項目をオプション項目に変更することができます(図1)。

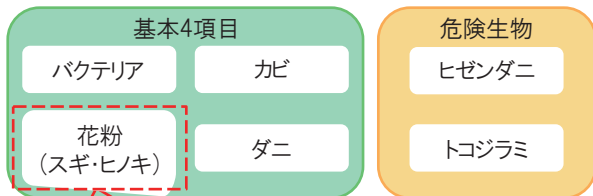


図1 花粉項目のオプション検査サービス

北海道の花粉飛散状況について

本州と異なり北海道では、スギの分布が道南の一部に限られています。そのため、道南以外の地域ではスギの花粉がほとんど観測されません。代わりに道内の多くの地域では、4月下旬から6月上旬にかけてシラカバの花粉が多く観測されています。

シラカバ花粉の飛散量は年によってばらつきが大きいのですが、シラカバ花粉飛散量と気象データを解析した結果から、前年の6月の日照時間と飛散年の3月の日照時間がともに長いことと、シラカバ花粉の総飛散量が多くなることに相関があるとする報告があります(図2)¹⁾。

ご興味のある方は、前年と今年の日照時間データを探してみてください。今年のシラカバ花粉の予測・対策に役立つかもしれません。



図2 シラカバ花粉飛散状況と気象の関係イメージ

「カバノキ亜科」花粉項目の検査について

(1)カバノキ亜科とは

カバノキ亜科には、ハンノキや北海道の代表的なカンバ類であるシラカンバ(シラカバ)、ダケカンバ、ウダイカンバなどの落葉広葉樹が属します(図3)。

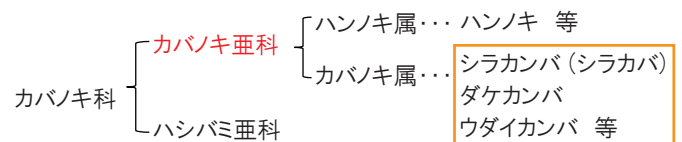


図3 カバノキ科に属する植物

(2)シラカバ花粉症

シラカバ花粉症は花粉症一般の症状に加え、口腔アレルギー症候群を引き起こす割合が高いと言われています。シラカバ花粉のアレルゲンは、リンゴやモモなどバラ科の果物に含まれるアレルゲンと似ているため、これらの果物を食べると、口の中が痺れたり、かゆくなったりします。

(3)検査方法

「お部屋の健康診断」は「遺伝子検査」と「衛生検査」を組み合わせたユニークな検査です。採取していただいた試料から環境DNAを抽出し、リアルタイムPCRというDNAを増やす装置を用いて室内に存在する花粉やカビなどを定量しています(写真1)。



写真1 当社研究員によるDNA抽出作業

ご存知ですか? ~寝具のダニ対策~²⁾

花粉と並んでアレルギーでお困りの方が多いのがダニです。ヒョウヒダニなどの虫体やふんに含まれる特定のタンパク質を吸入したり接触すると、アレルギー症状が現れる方がおられます。室内でダニの死骸やふんを吸い込んでしまうのは主に睡眠中です。このため、体に接して使う寝具の管理は特に重要です。そこで以下の3つの対策方法をご紹介します。

【対策①:乾燥と掃除機がけ】

天気の良い日は布団を干し、よく乾燥させてください。布団をたたくと、布団表面にダニアレルゲンが細かくなって浮かび上がります。布団を干した後は掃除機がけを行うと効果があります。

掃除機がけは、1週間に1回、1m²あたり20秒間、布団の表・裏にかけて行いましょう。

【対策②:洗濯】

シーツや布団カバーはこまめに取り替えて洗濯しましょう。ダニの虫体やふんを丸ごと除去できる布団の丸洗いが効果的です。気になる方は、専門の業者に頼んで1年に2回ぐらい行ってください。

【対策③:換気】

布団を敷いた直後は、ダニ(虫体、死骸、脱皮殻、ふん)が室内の空气中に浮遊しています。布団を敷くのは、就寝30分以上前に、窓を大きく開けて行いましょう。

サービスのお申込みはこちらで

「お部屋の健康診断」は、私たちが気になる衛生上の対象生物を一気にチェックできるサービスです。先にご紹介した「花粉」や「ダニ」に加え、ぜん息などを引き起こすおそれのある「カビ」、有害微生物の増殖に影響を与える「バクテリア」、疥癬(かいせん(激しいかゆみ))の原因となる「ヒゼンダニ」、海外からの持ち込みで被害が拡大している「トコジラミ」を、1回の検査で、簡単に調べることができます。

ウェブ(図4)からのお申込みを受付後、3営業日以内に専用の採取キットを発送いたします。検体の採取は拭き取り式で、返送はポストに投函するだけです。分析検査は、全工程を当社内で行い、安全・安心の実施体制を整えています。検査結果は、わかりやすい報告書にまとめて、今後の対策やアドバイスを添えてお返しいたします(図5)。

「お部屋の健康診断」ウェブサイト
～お申込はこちらから～

お部屋の健康診断
検索

<https://lifecare.ideacon.co.jp/>

図4 「お部屋の健康診断」のウェブサイト

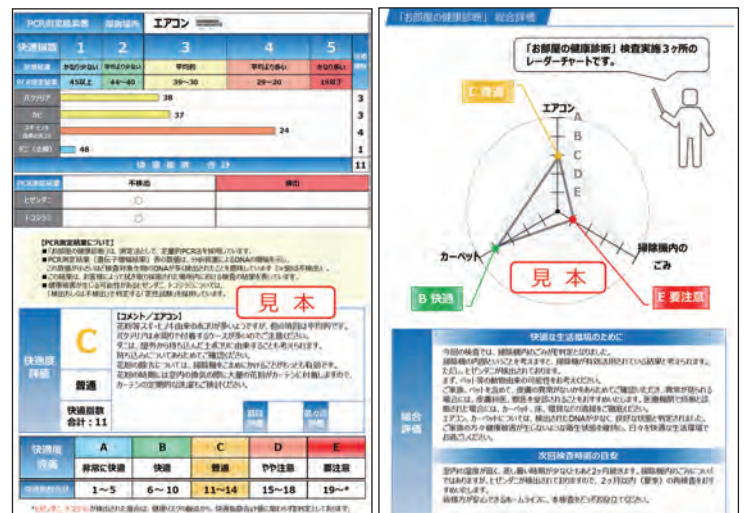


図5 報告書見本

ご用命ください!! いであの「ライフケア・サービス」

「お部屋の健康診断」は、お客さまのニーズに合わせて、お客さまのサポートをするサービスです。皆さま方の大切な暮らしに、いであのライフケア・サービスをどうぞお役立てください。

〔出典〕

- 1)白崎ら(2014),札幌市のシラカバ花粉飛散状況と気象との関係について,日本耳鼻咽喉科学会会報117(5):653-657
- 2)東京都福祉保健局(2017),「健康・快適居住環境の指針(平成28年度改訂版)」